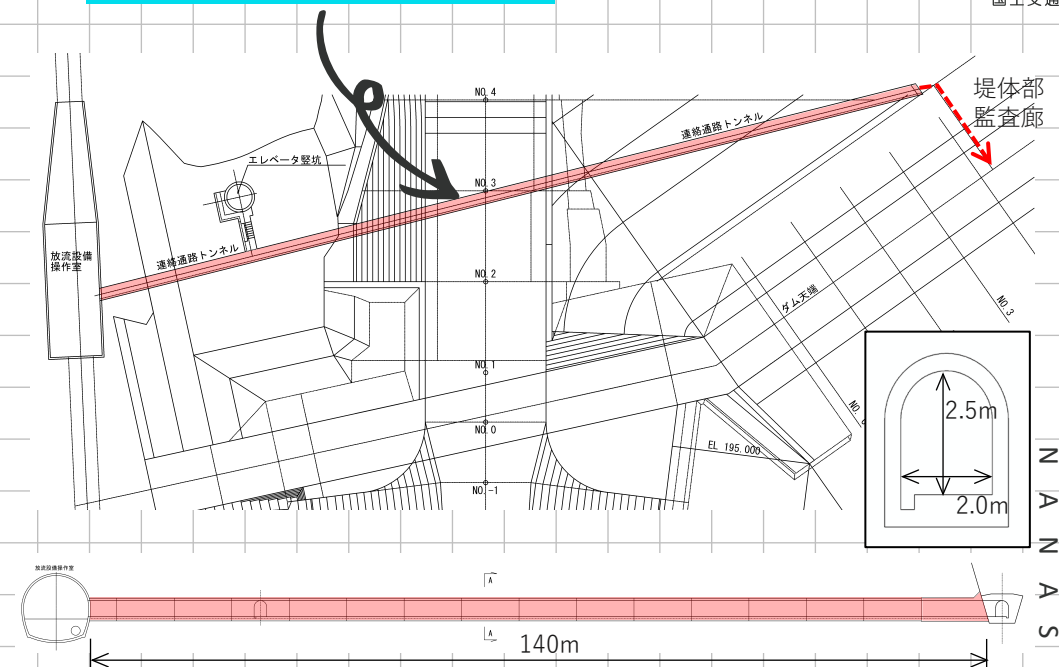




連絡通路トンネル

N
A
N
A
S
E
D
A
M

トンネル工事で掘り出された、土砂の積み込みと運搬を1台で行う機械だよ！
(ロードホールダンプ)



型 式

在来工法(矢板工法)トンネル

内 空 断 面

幅2.0m×高2.5m (幌型)

形 状

標準覆工厚350mm,
延長140m (1ブロック延長9m)

施設概要

フィル堤体部監査廊とエレベータ及び放流設備操作室を繋ぐ通路である。堤体側監査廊は、コア数でT字に分岐させており、坑口は基礎地盤の止水性を確保するため、コア数を避けて下流側のフィルター敷に設けている。連絡通路トンネルは、掘削幅（トンネル直径）が小さい条件から、在来工法（矢板工法）を採用している。

ランダム情報

在来工法では覆工背面に空洞が残るため、トンネル頂部に注入口を設け、可塑性モルタルを無圧で注入して空洞を充填している。トンネル周辺の地山浸透水を坑内に排水させるための排水孔を設け、覆工に水压を作用させない設計としている。